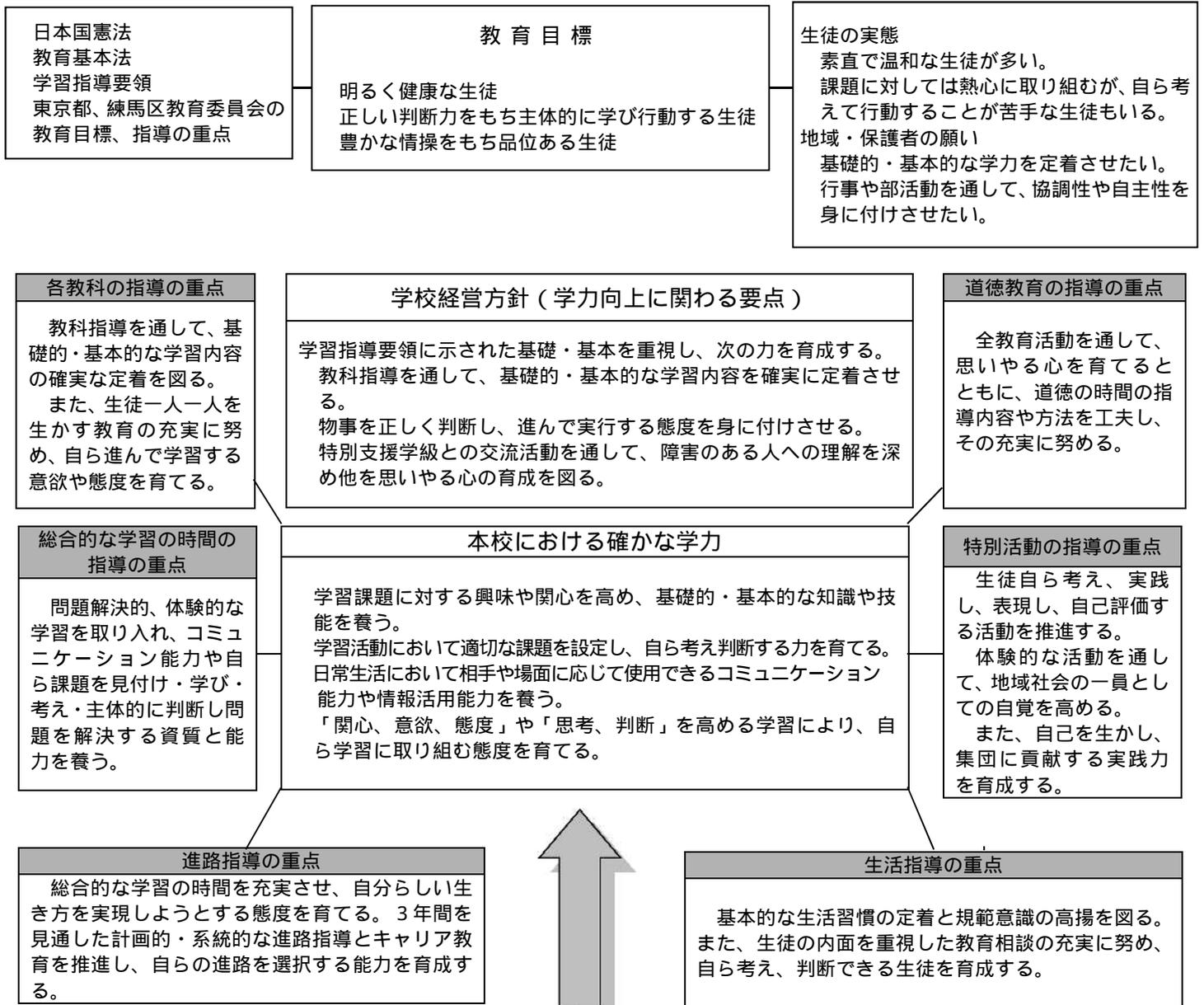


平成 28 年度

授業改善推進プラン

練馬区立石神井中学校

1 学力向上を図るための全体計画



授業改善に向けた具体的な取り組み				
分かりやすい授業づくりに取り組む。	個に応じた指導を重視し、基礎学力の定着を図る。	学校図書館の整備に努め、言語に関する能力を育成する。	各教科の指導・評価計画を見直し、より適切な評価・評価を行う。	3年間を見通した計画的・系統的な進路指導とキャリア教育を推進する。
互いに授業力を高め合う研究授業、分かりやすい授業を実現させる教材や指導法の開発を校内研修の中に位置付け、計画的に実施する。 7月に実施する生徒の授業評価アンケートや学力調査の結果を基に、夏季休業終了までに授業改善推進プランを作成する。 理数授業特別プログラム実施校や特別支援学級発表校として研究してきた内容を検証し、研究主題に迫る授業を展開する。	区の学力向上支援講師や学校生活支援員を活用した複数教員による指導体制を整備し、個に応じたきめ細かな指導を行う。 夏季休業中・放課後・定期考査前に補充教室・補習教室・質問教室等を計画的に実施する。 数学の習熟度別授業や英語の少人数授業の指導計画を検討し、次年度の実施につなげる。	学校図書館運営計画を作成し、図書室の整備とともに、学習センターとしての利用を図る。 全校で朝の読書活動を推進する。	教育課程説明会では、評価・評価の説明や配付資料の工夫に努め、より分かりやすく説明する。 より信頼度の高い評価・評価にするための検証作業を学期末ごとに実施する。 適正な評価・評価の在り方について研修を深め、それらを検証作業後の評価・評価に生かす。 小中一貫教育研究グループで作成した課題改善カリキュラムの指導実践と検証を行う。	総合的な学習の時間を通して、様々な分野の職人・芸術家・専門家を講師に招いた講演会を実施し、生徒に広い視点から自分の進路を考えさせる。 本校の実態に即した進路資料や進学資料を作成し、それらを有効に活用する。 職業調べ、職場訪問、職場体験、上級学校訪問等を計画的に実施し、その内容をまとめ、発表する機会をつくる。